



中部電力

# 2021年度第3四半期 投資家向けIR説明資料

2022年1月28日

<b>I 2021年度第3四半期 決算概要</b>	<b>〈スライド番号〉</b>	<b>III 参考データ：経営関連</b>	<b>〈スライド番号〉</b>
決算概要	1	連結経常損益・純損益の推移	17
セグメント別決算概要	4	資金調達・有利子負債残高の推移	18
発電電力量	8	連結キャッシュ・フローの推移	19
（参考）期ずれ影響のイメージ（実績）	9	連結財務体質の推移・格付	20
2021年度 業績見通しの概要	10	連結ROA・ROEの推移	21
（参考）期ずれ影響のイメージ（年度見通し）	12	株主総利回り（TSR）の推移	22
<b>II 参考データ：決算・財務関連</b>	<b>〈スライド番号〉</b>	ミライズグループ販売状況について	23
連結収支比較表	13	ミライズ販売電力量の月別推移	24
連結財政状態の概要	14	2020年度電源構成（確報値）	25
2021年度 セグメント別業績見通し	15	再生可能エネルギー事業の概要	26
財務関連指標等	16	グローバル事業の展開	27
		浜岡原子力発電所の審査状況	30

# I 2021年度第3四半期 決算概要

---

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。  
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

# 決算概要①

## 〈決算のポイント〉(連結)

- 売上高：1兆8,268億円  
「収益認識に関する会計基準」の適用影響（△4,729億円）などから、前年同期に比べ 2,856億円の減収
- 経常損益：△51億円  
JERAにおけるLNGおよび石炭トレーディング事業の利益増加や新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、期ずれが差益から差損に転じたこと(△1,710億円[660億円→△1,050億円])や、ミライズにおける競争影響による収支悪化および卸電力取引市場の価格高騰に伴う電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 1,966億円の減益（参考）期ずれを除いた経常利益：1,000億円程度（前年同期に比べ 250億円程度の減益）
- 特別損益：△56億円  
2021年1月の電力需給ひっ迫に伴うインバランス料金の高騰を受けて、中部電力パワーグリッドが受領したインバランス料金の一部を還元する金額を特別損失に計上

- ・ 売上高は、2020/3Qに続き、2年連続の減収
- ・ 2016/3Q以来、5年ぶりの減収減益
- ・ 経常損益は、2018/3Q以来、3年ぶりの減益
- ・ 2013/3Q以来、8年ぶりの赤字

(億円,%)

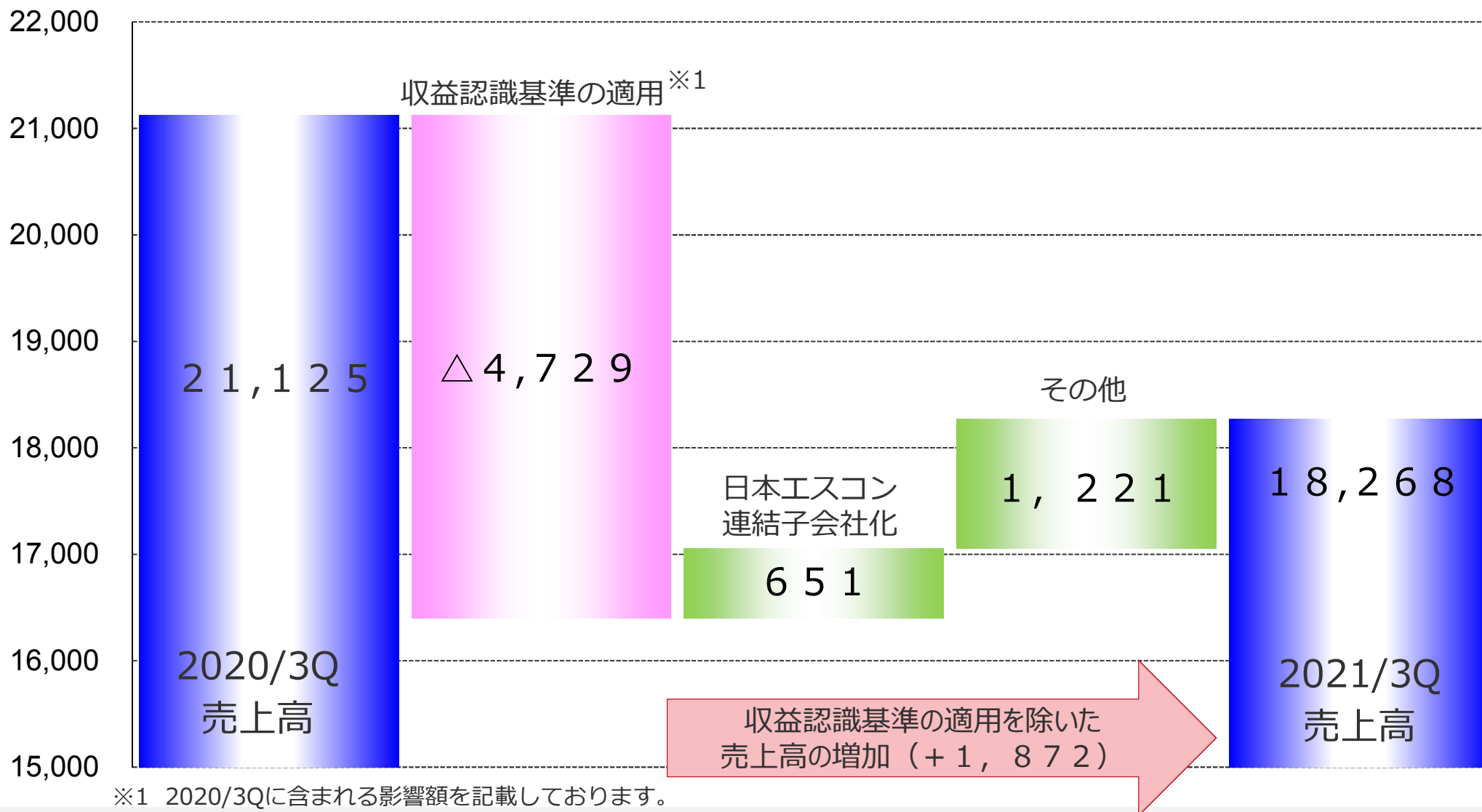
	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	18,268	21,125	△2,856	△13.5
営業損益	△18	1,120	△1,138	—
経常損益	△51	1,914	△1,966	—
特別損益	△56	—	△56	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△131	1,566	△1,698	—

(注) 連結対象会社数 2021/3Q 連結子会社 62社(+24社) 持分法適用会社 58社(+10社) [ ( ) 内は前年同期差 ]

# 決算概要②

## 〈連結売上高の変動要因〉 (2,856億円の減収)

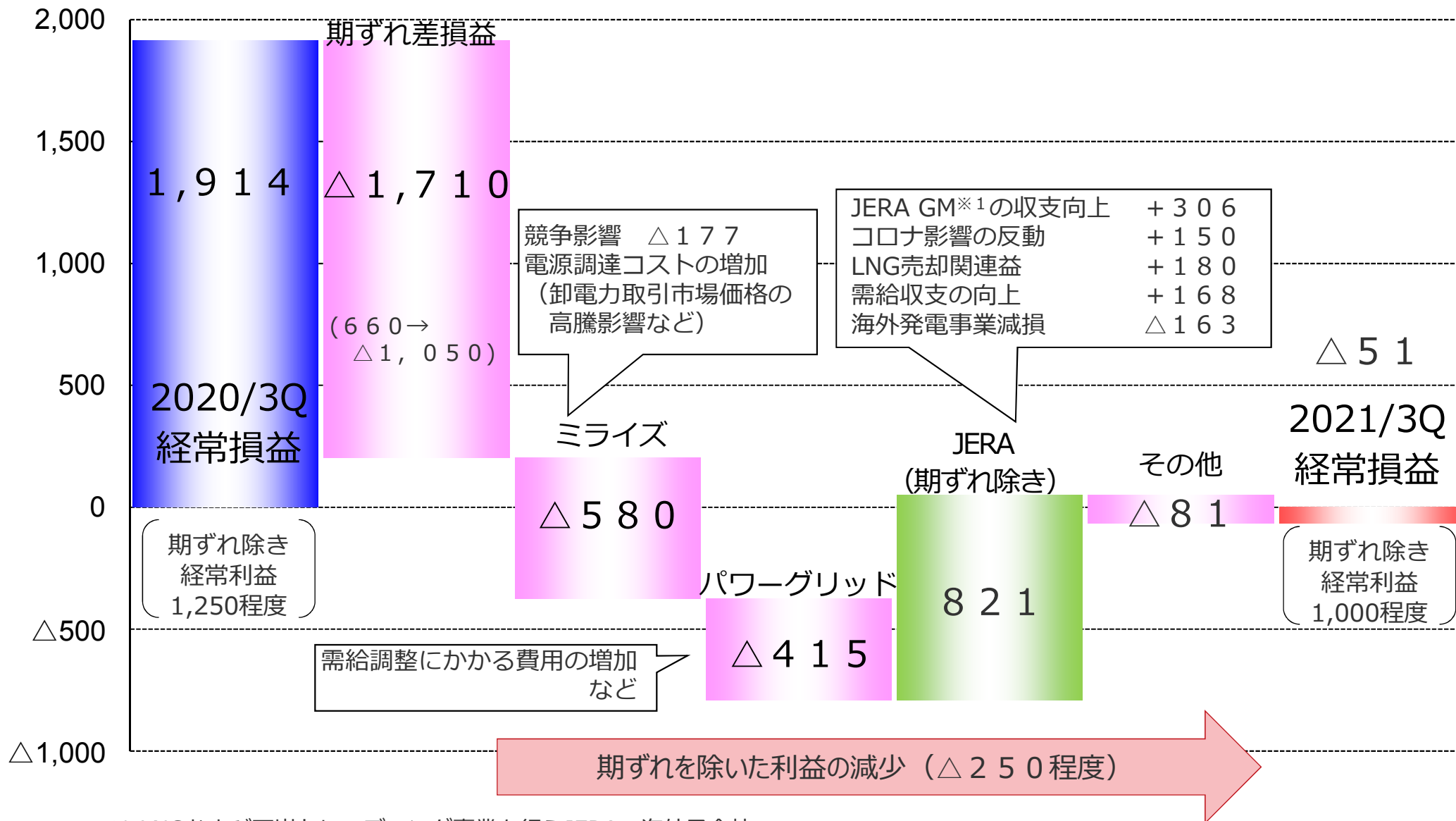
(単位：億円)



# 決算概要③

## 〈連結経常損益の変動要因〉 (1,966億円の減益)

(単位：億円)



※1 LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERAの海外子会社

# セグメント別決算概要①

## 【売上高】

(億円,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	13,713	17,708	△3,995	△22.6
パワーグリッド	5,962	5,502	459	8.4
その他 (※1)	6,041	5,288	753	14.2
調整額	△7,448	△7,373	△74	1.0
合計	18,268	21,125	△2,856	△13.5

## 【経常損益】

(億円,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	△260	320	△580	—
パワーグリッド	△149	266	△415	—
J E R A (※2)	△2	886	△888	—
その他 (※1)	1,163	693	470	67.9
調整額	△803	△251	△552	219.8
合計	△51	1,914	△1,966	—

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

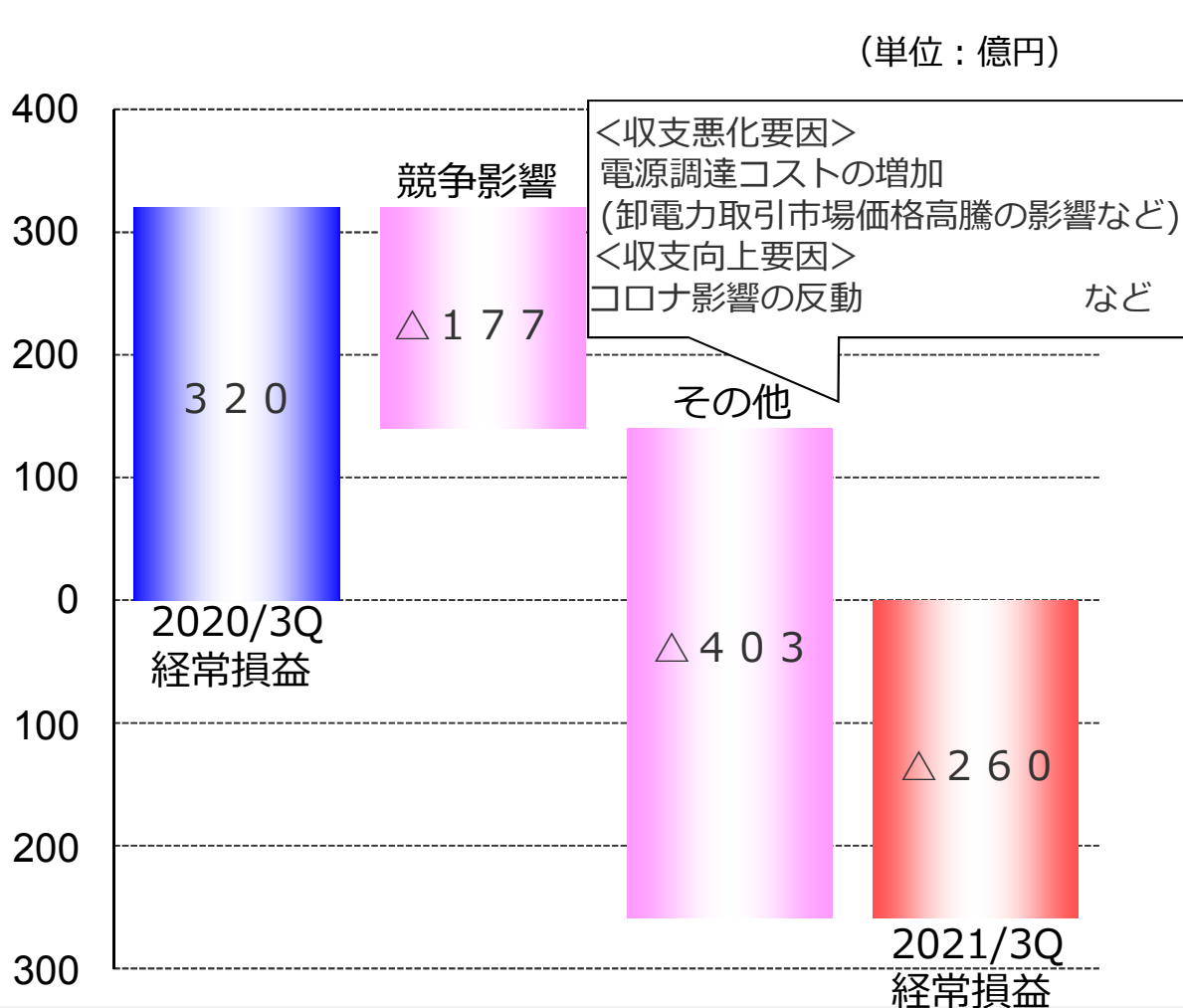
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

# セグメント別決算概要②：ミライズ

## 〈経常損益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、競争影響による収支悪化や卸電力取引市場の価格高騰による電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 580億円の減益



## (販売電力量)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	217	233	△16	△6.9
高圧・特別高圧	575	575	△0	△0.0
合計	792	808	△16	△2.0

競争影響△36程度、気温・景気等+21程度

## [参考]

グループ合計の 販売電力量	857	853	3	0.4
他社販売電力量	78	53	25	47.3

- ※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。
- ※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。
- ※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

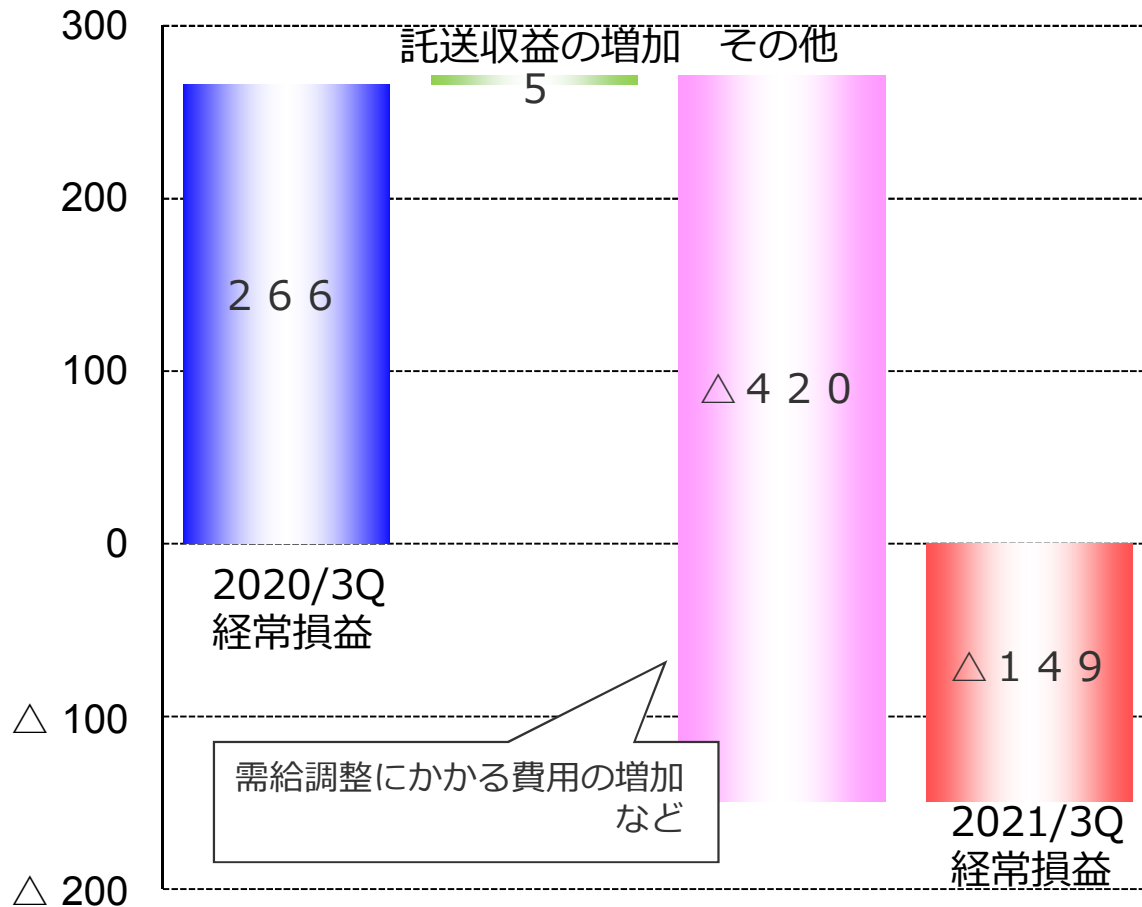


# セグメント別決算概要③：パワーグリッド

## 〈経常損益の変動要因〉

- 託送収益の増加はあったものの、需給調整にかかる費用の増加などから、前年同期に比べ 415億円の減益

(単位：億円)



(エリア需要)

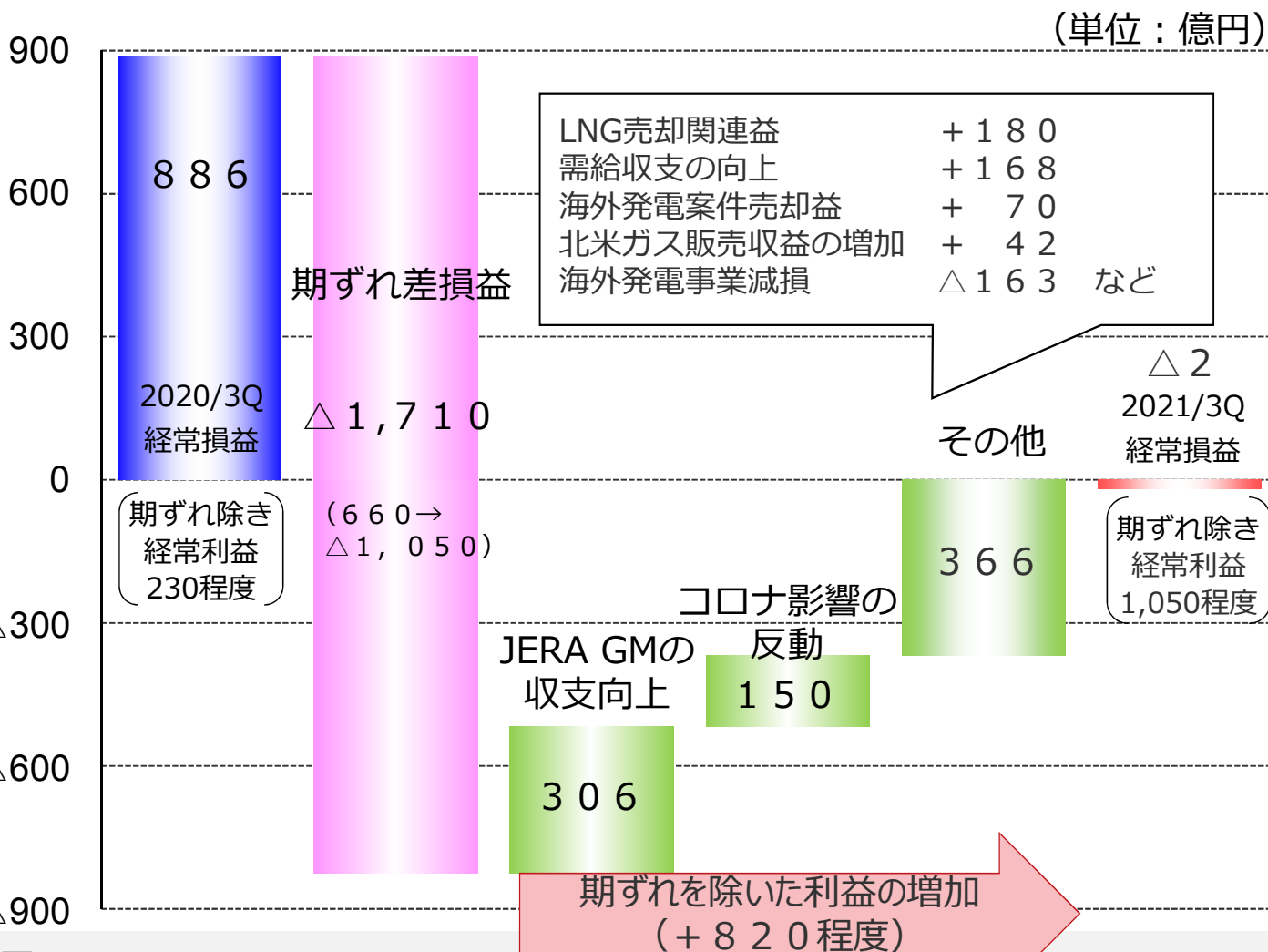
(億kWh,%)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	267	273	△6	△2.1
高圧・特高	654	625	30	4.7
合計	922	898	24	2.7

# セグメント別決算概要④：J E R A

## 〈経常損益の変動要因〉

- LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERA GMの収支向上や新型コロナウイルス感染症影響の反動による収支向上などはあったものの、期ずれが差益から差損に転じたことによる収支悪化などにより、前年同期に比べ 888億円の減益（参考）期ずれを除いた経常利益：1,050億円程度（前年同期に比べ 820億円程度の増益）



(CIF価格・為替レート)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	74.0	39.1	34.9
為替レート(円/\$)	111.1	106.1	5.0

※2021/3Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

	'21/3Q (A)	'20/3Q (B)	増減 (A-B)
連結純利益(億円)	184 (2,283)	1,965 (641)	△1,781 (1,641)

( ) 内は期ずれ除き連結純利益

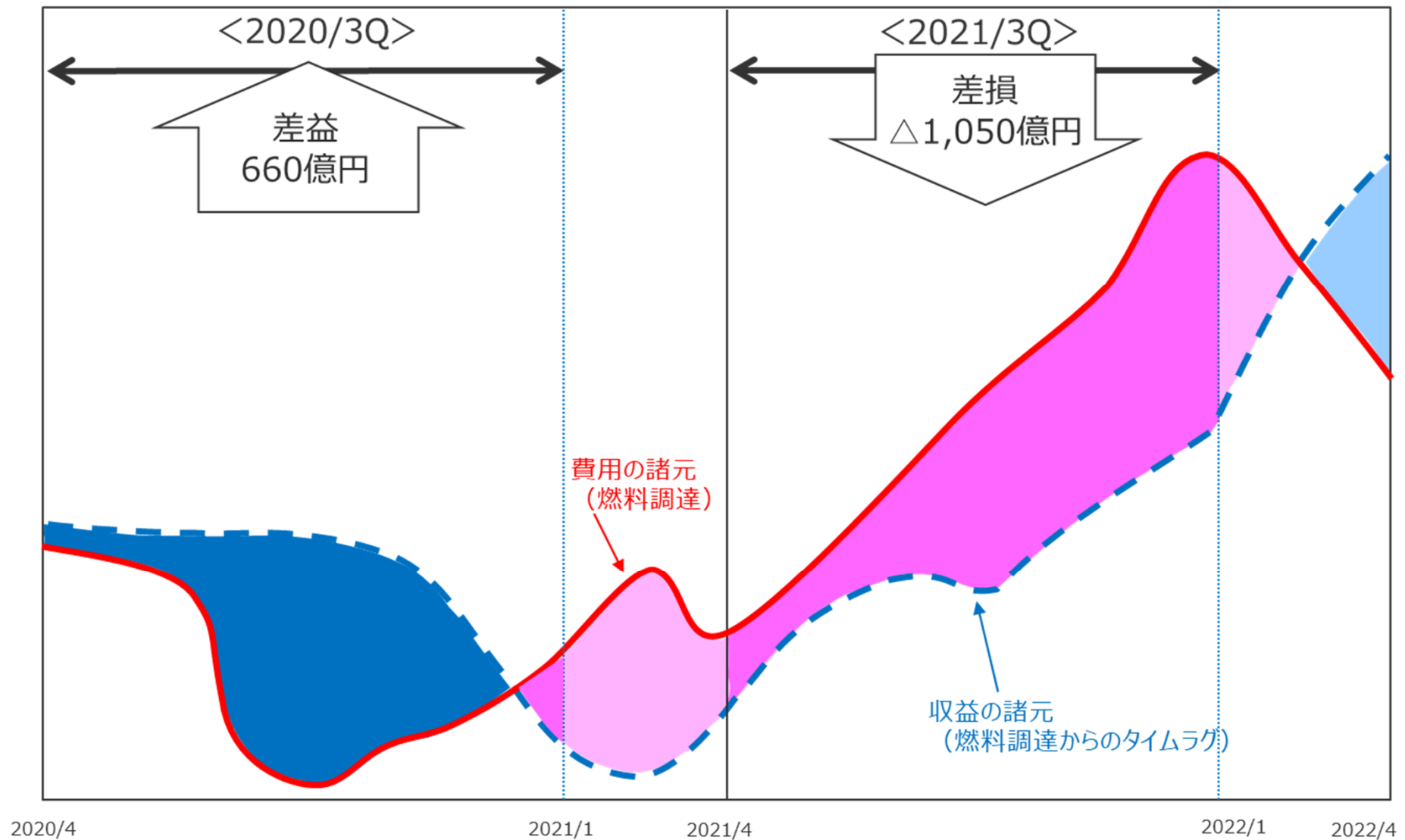
## 〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を上回り、2億kWh増加
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	71 (103.9)	69 (101.4)	2 (2.5)	2.6
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	3	3	△0	△12.2
合計	73	72	1	2.0

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



# 2021年度 業績見通しの概要①

## 〈業績見通し〉(連結) 2021年10月28日公表の業績予想値を修正

- 売上高：2兆6,000億円  
燃料価格の高騰に伴う燃料費調整額や他社販売電力料の増加などにより、前回公表から1,000億円の増収
  - 経常損益：△500億円  
JERAにおけるLNGおよび石炭トレーディング事業の利益増加などはあるが、燃料価格の高騰に伴う期ずれ差損の拡大に加え、ミライズにおける卸電力取引市場の価格高騰に伴う電源調達コストの増加などにより、前回公表から950億円の減益  
なお、期ずれを除いた利益は、500億円程度となる見込み（前回公表から700億円の減益）
- ・ 売上高は、2020年度に続き、2年連続の減収
  - ・ 2016年度以来、5年ぶりの減収減益
  - ・ 経常損益は、2018年度以来、3年ぶりの減益
  - ・ 2013年度以来、8年ぶりの赤字
- (億円,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	26,000	25,000	1,000程度	4.0
経常損益	△500	450	△950程度	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△450	250	△700程度	—

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	26,000	29,354	△3,350程度	△11.4
経常損益	△500	1,922	△2,420程度	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△450	1,472	△1,920程度	—

# 2021年度 業績見通しの概要②

## 【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

競争影響△10程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,089	1,099	△10	△0.9
グループ合計の販売電力量	1,175	1,180	△5	△0.4

[参考] 前期比較

競争影響△45程度、気温・景気等+30程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,089	1,107	△18	△1.7
グループ合計の販売電力量	1,175	1,171	4	0.3

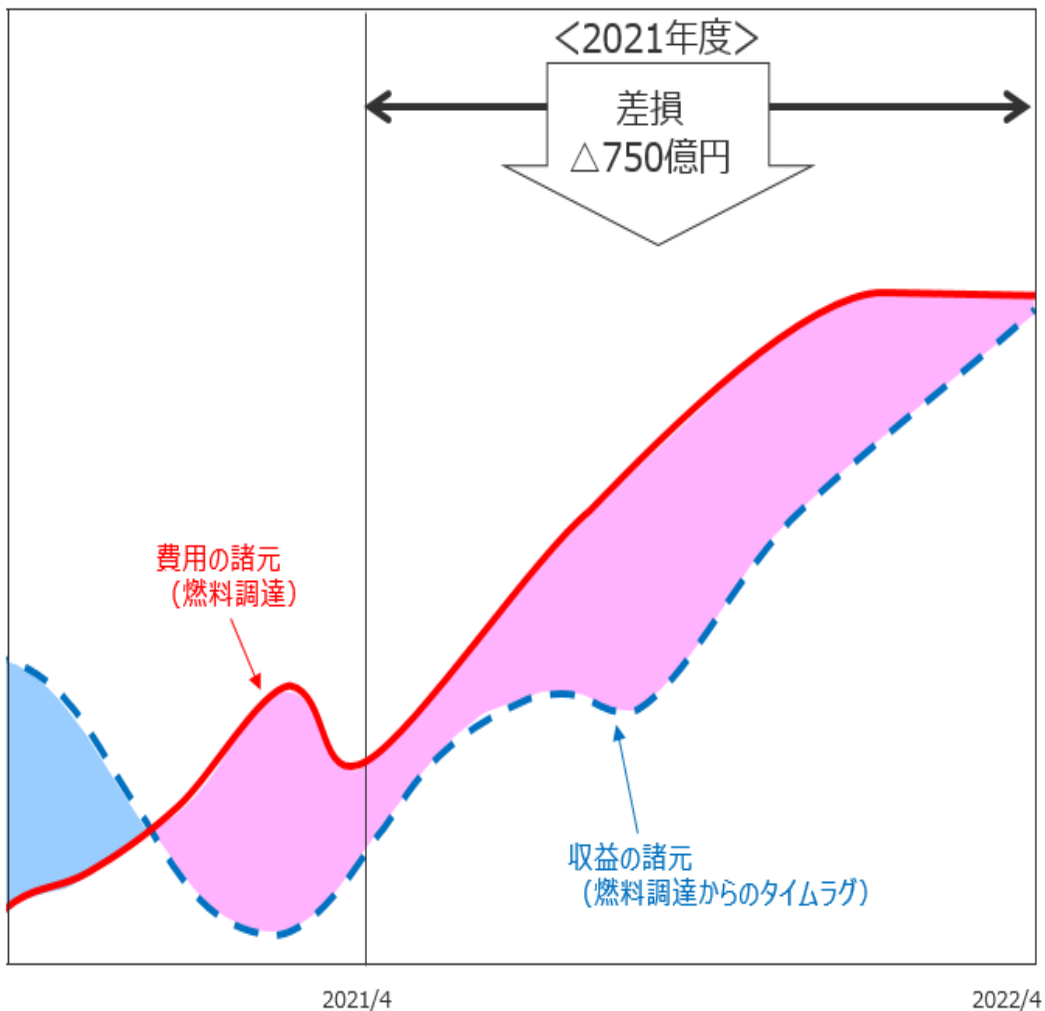
※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

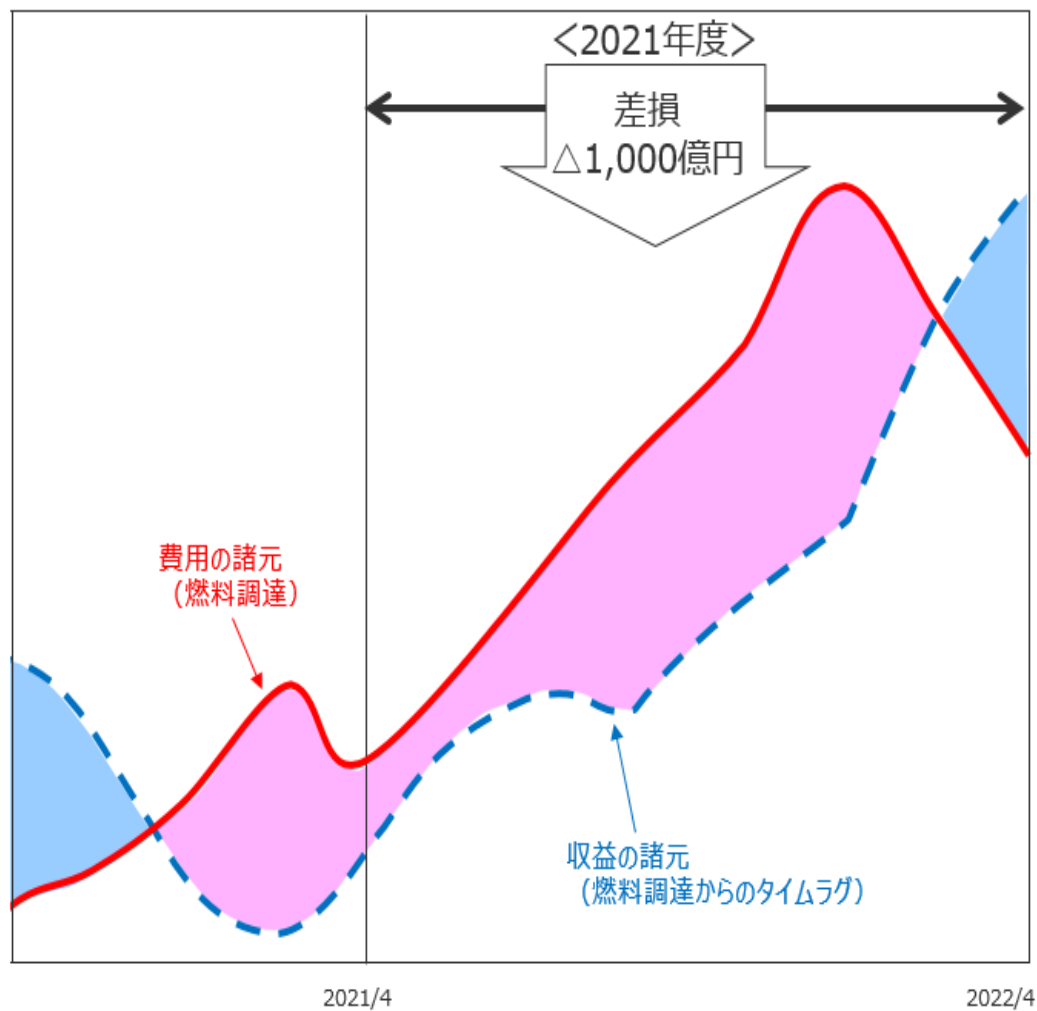
	今回公表	10/28公表	<参考> 2020年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	75程度	73程度	43
為替レート (円/\$)	112程度	110程度	106
原子力利用率 (%)	—	—	—

# (参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)

○10月公表 (△750億円)



○今回公表 (△1,000億円)



# Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

---



# 連結収支比較表

(億円,%)

	2021/3Q (A)	2020/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	18,268	21,125	△2,856	△13.5
持分法による投資利益	24	903	△879	△97.3
その他収益	135	57	78	138.1
営業外収益	160	960	△800	△83.3
経常収益	18,429	22,086	△3,657	△16.6
営業費用	18,286	20,005	△1,718	△8.6
営業外費用	193	166	26	16.2
経常費用	18,480	20,171	△1,691	△8.4
(営業損益)	(△18)	(1,120)	(△1,138)	(—)
経常損益	△51	1,914	△1,966	—
特別損益	△56	—	△56	—
法人税等	9	318	△308	△96.9
非支配株主に帰属する四半期純損益	13	30	△16	△54.5
親会社株主に帰属する四半期純損益	△131	1,566	△1,698	—

# 連結財政状態の概要

(億円)

	2021/12末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	60,986	56,863	4,122
負債	39,737	35,826	3,910
純資産	21,248	21,036	211

<主な増減理由>

日本エスコン連結子会社化に伴う増加 など

	2021/12末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)	2021年度 見通し
自己資本比率(%)	33.1	35.7	△2.6	32程度
有利子負債残高	27,922	23,336	4,585	28,000程度
D/Eレシオ (倍)	1.3	1.2	0.1	1.3程度

# 2021年度 セグメント別業績見通し

## 【経常損益】

(億円,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	△550	150	△700程度	—
パワーグリッド	△200	100	△300程度	—
J E R A	△130 (870)	△130 (620)	— (250程度)	— (40.3)
その他・調整額	380	330	50程度	15.2
合計	△500 (500程度)	450 (1,200程度)	△950程度 (△700程度)	— (△58.3)

( ) 内は期ずれ除き経常利益

## (参考) JERA連結業績見通し

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
J E R A 連結純利益	0 (2,000)	0 (1,500)	— (500程度)	— (33.3)

( ) 内は期ずれ除き連結純利益

(%)

	2021年度 見通し	【参考】 2020年度
ROA	△0.5程度 (1.0程度)	3.8 (3.4)
ROE	△2.5程度 (2.5程度)	7.5 (6.3)

( ) 内は期ずれ除きの数値

(億円)

	2021年度 見通し	2021/3Q	【参考】 2020年度
戦略的投資	1,000程度 (2,500程度)	700程度 (2,200程度)	400程度 (1,500程度)

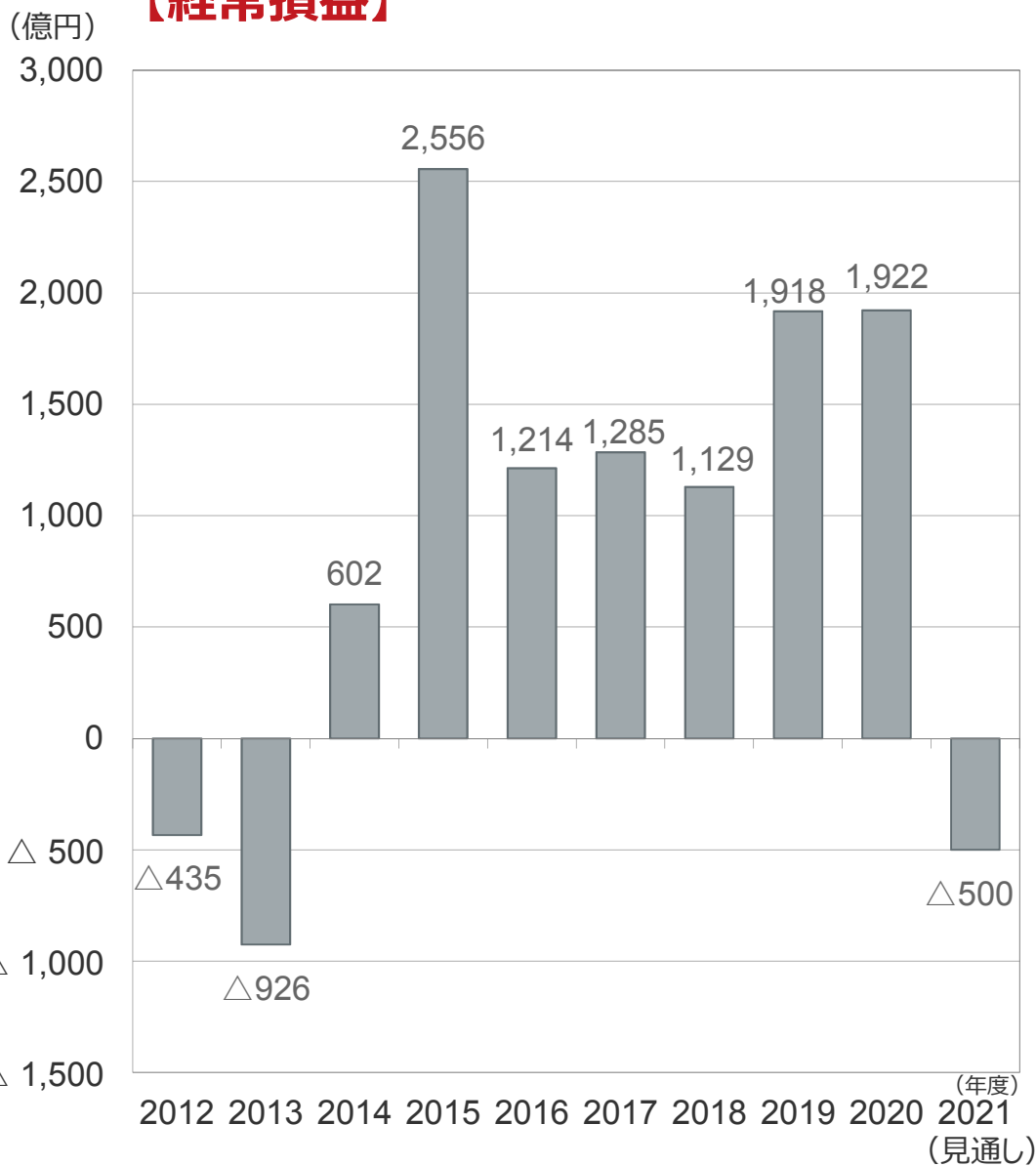
( )内は2019年度からの累計額。当社は2019年度から2023年度までの5年間累計4,000億円以上の戦略的投資を目指しております。また、2021年11月に公表した経営ビジョン2.0は、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の戦略的投資を目指しております。

# Ⅲ 参考データ：経営関連

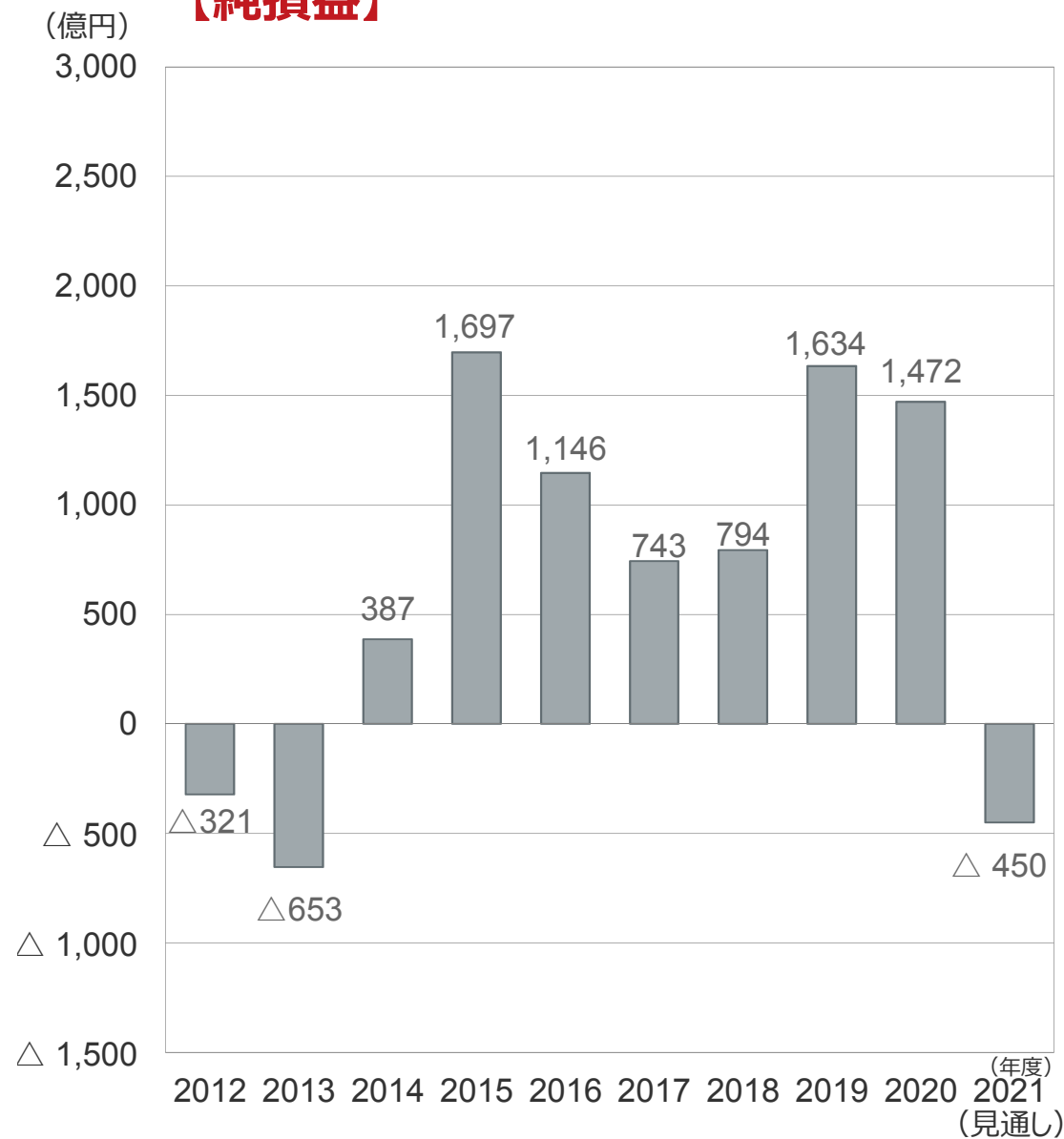
---

# 連結経常損益・純損益の推移

## 【経常損益】

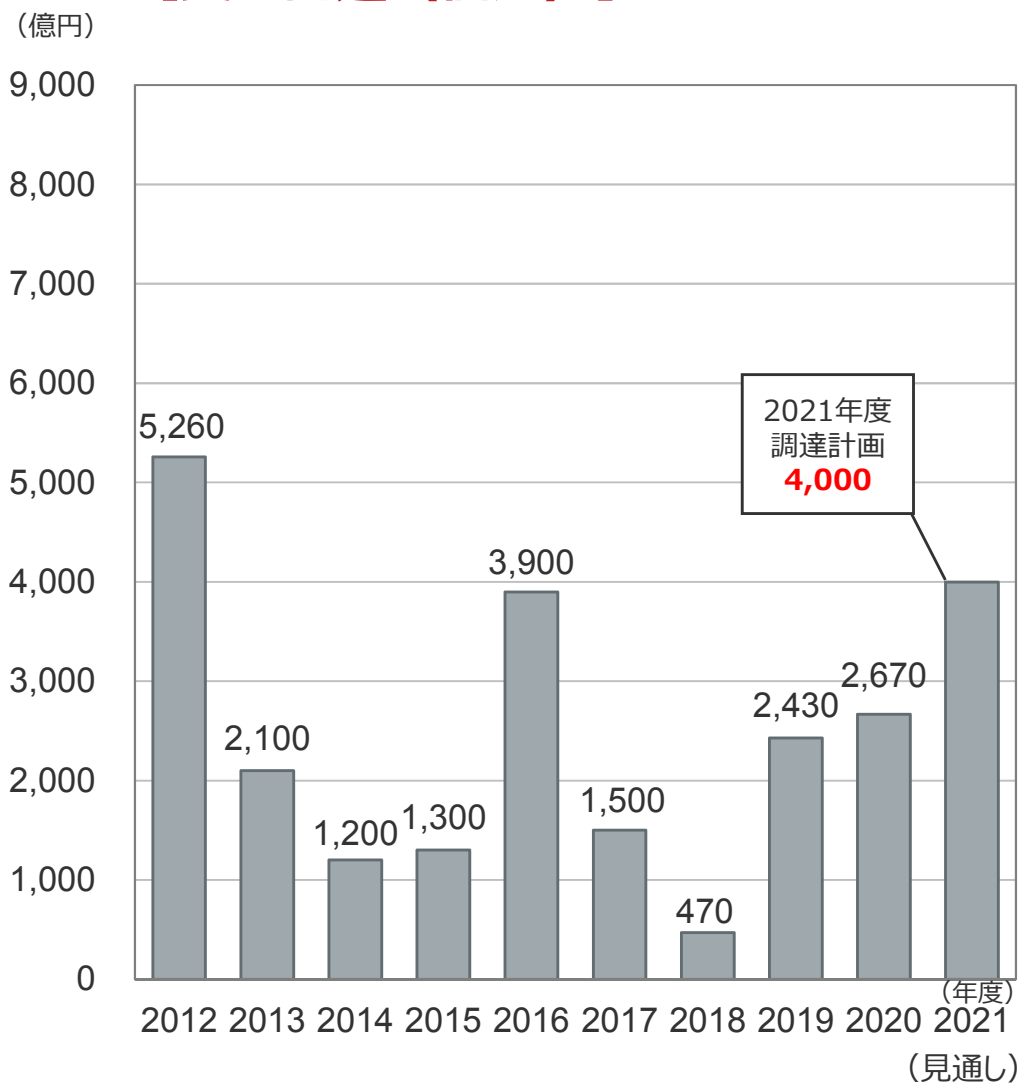


## 【純損益】

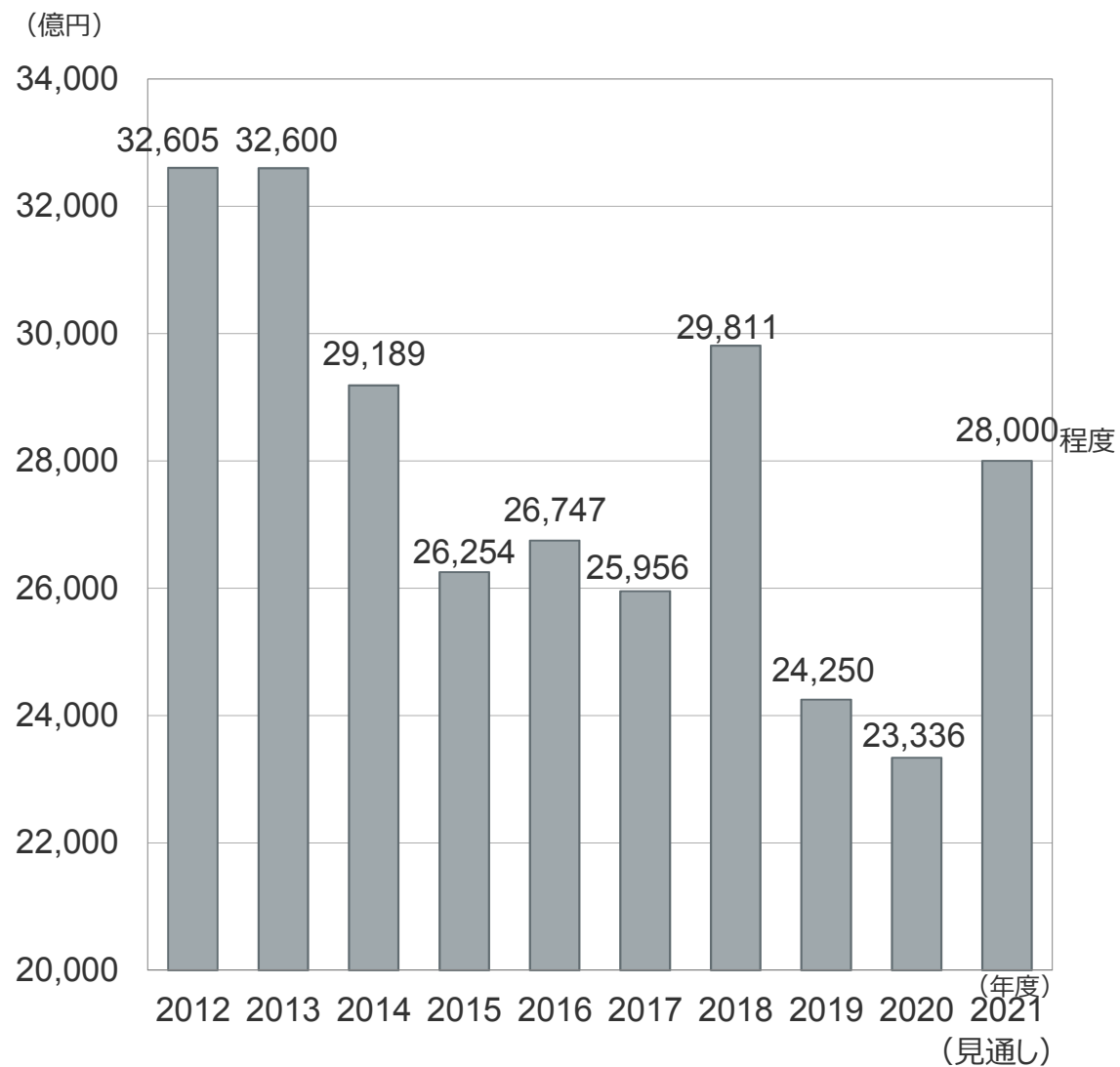


# 資金調達・有利子負債残高の推移

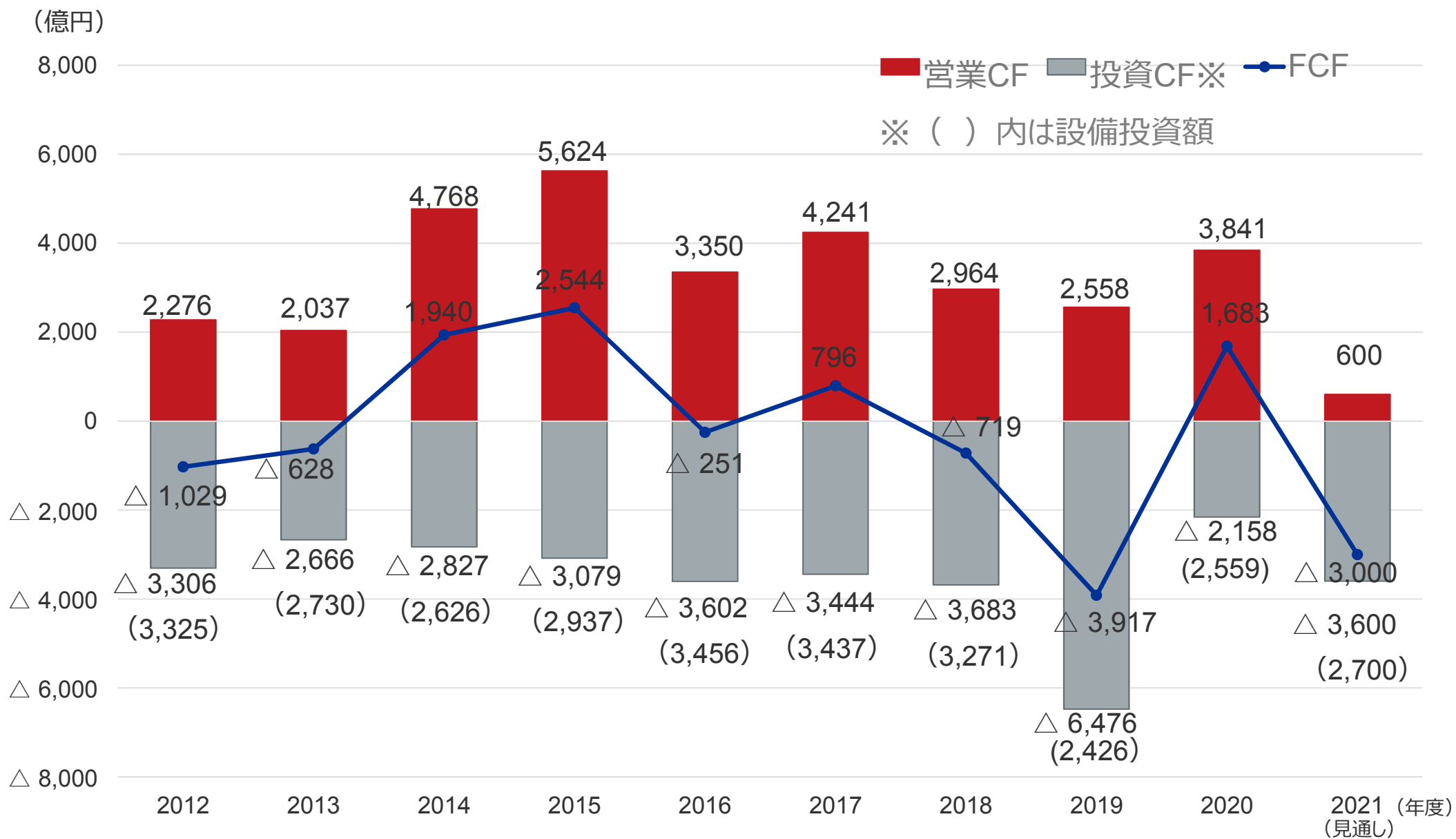
## 【資金調達（個別）】



## 【有利子負債残高（連結）】



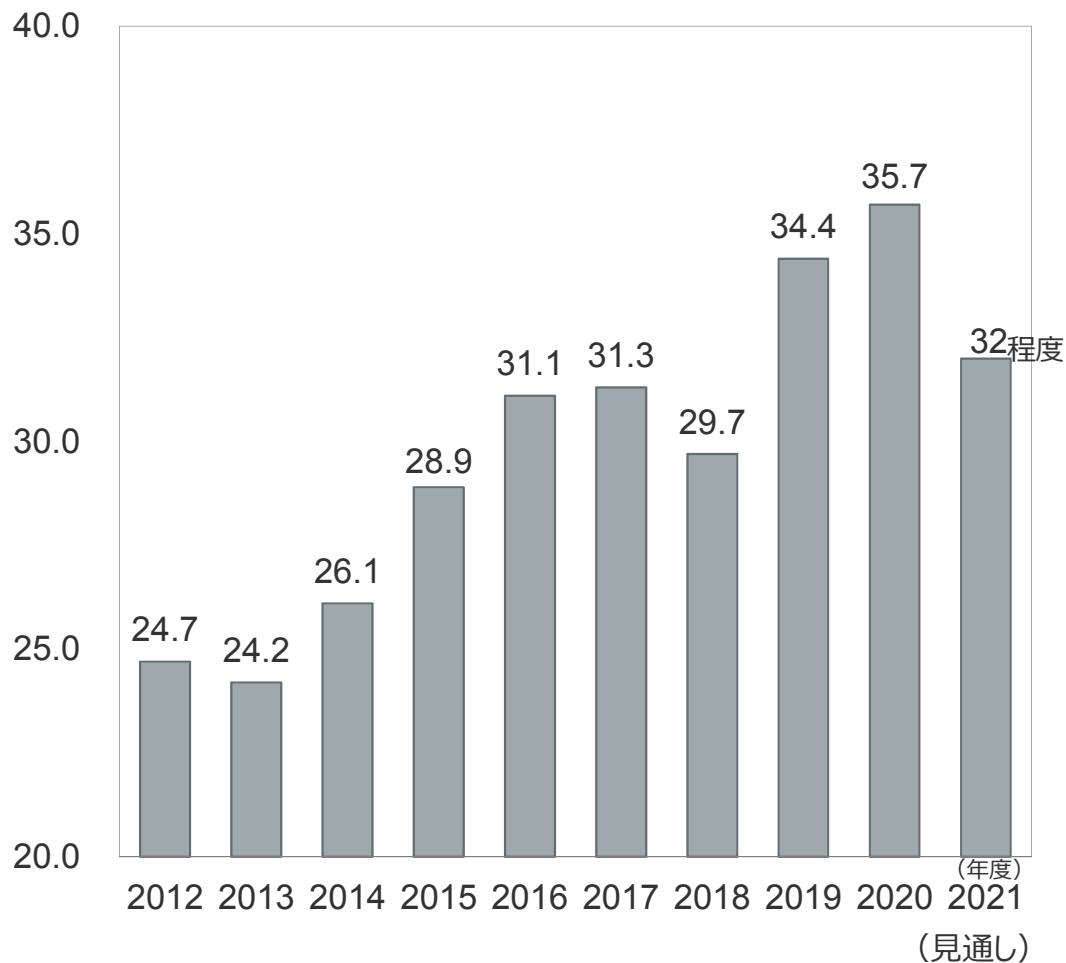
# 連結キャッシュ・フローの推移



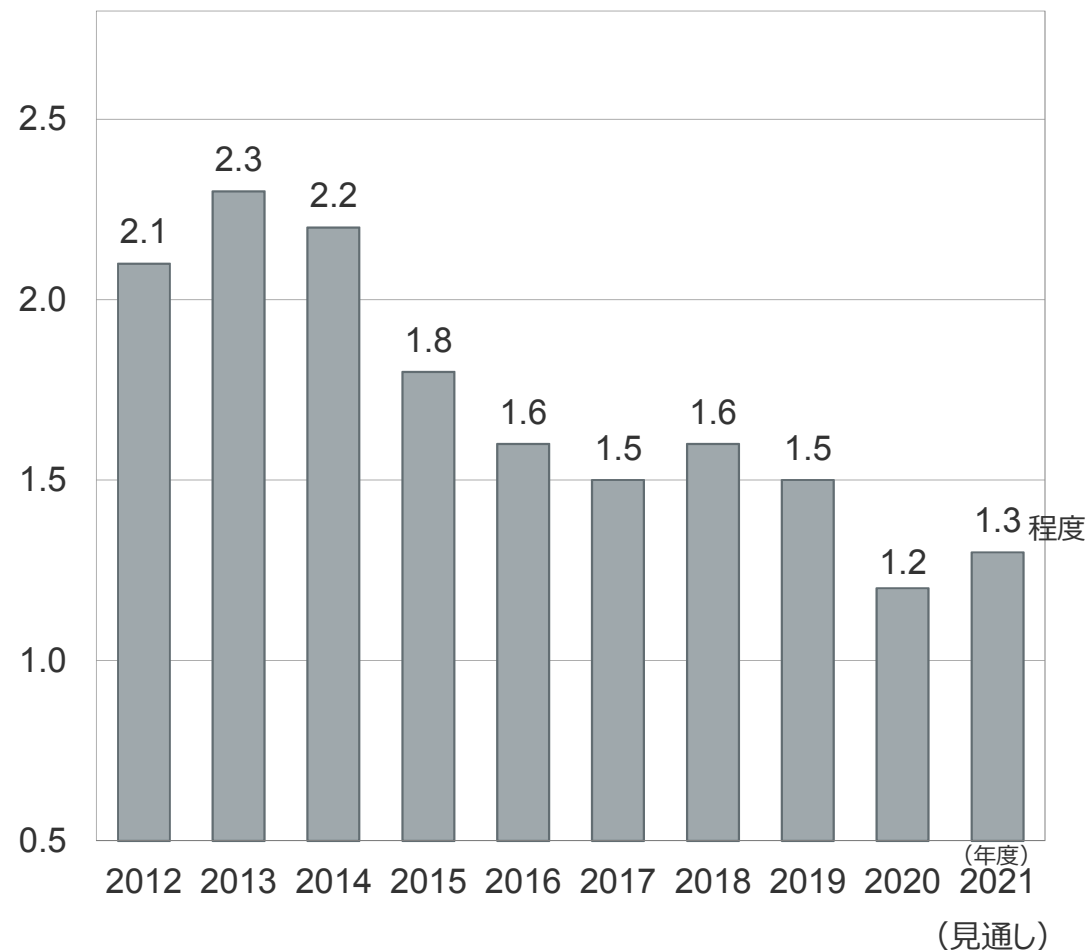


# 連結財務体質の推移・格付

(%) **【自己資本比率】**



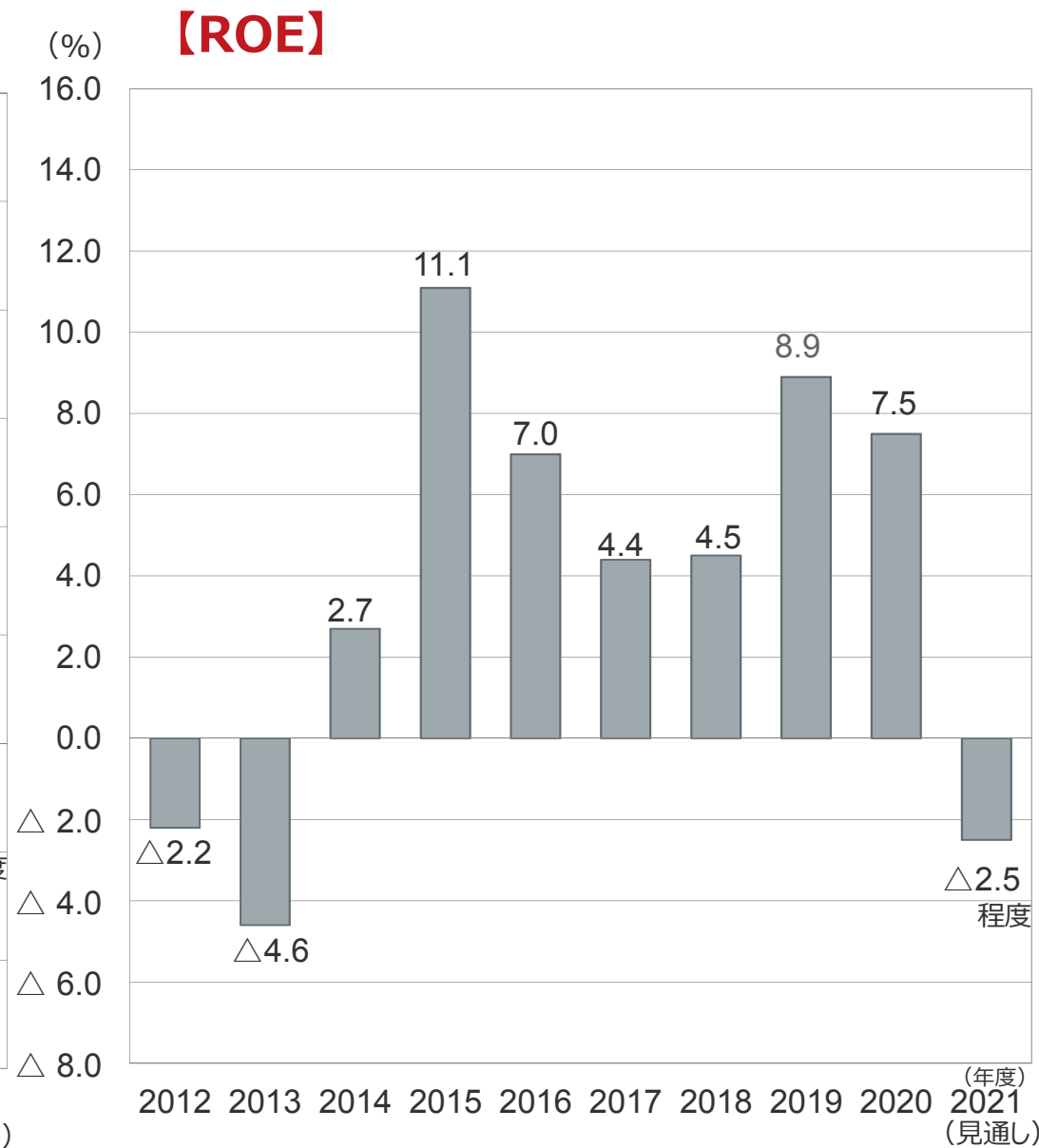
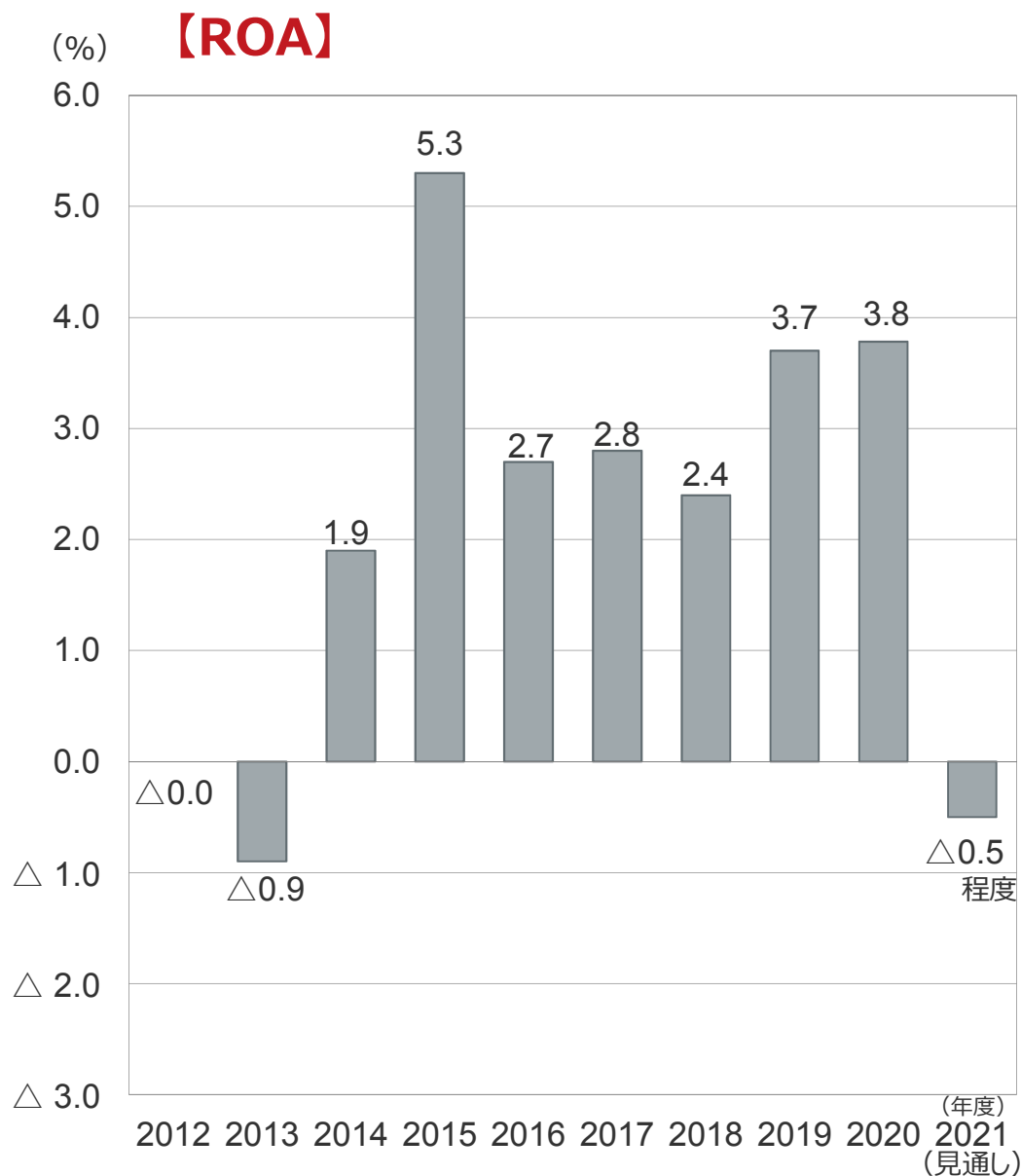
(倍) **【D/Eレシオ】**



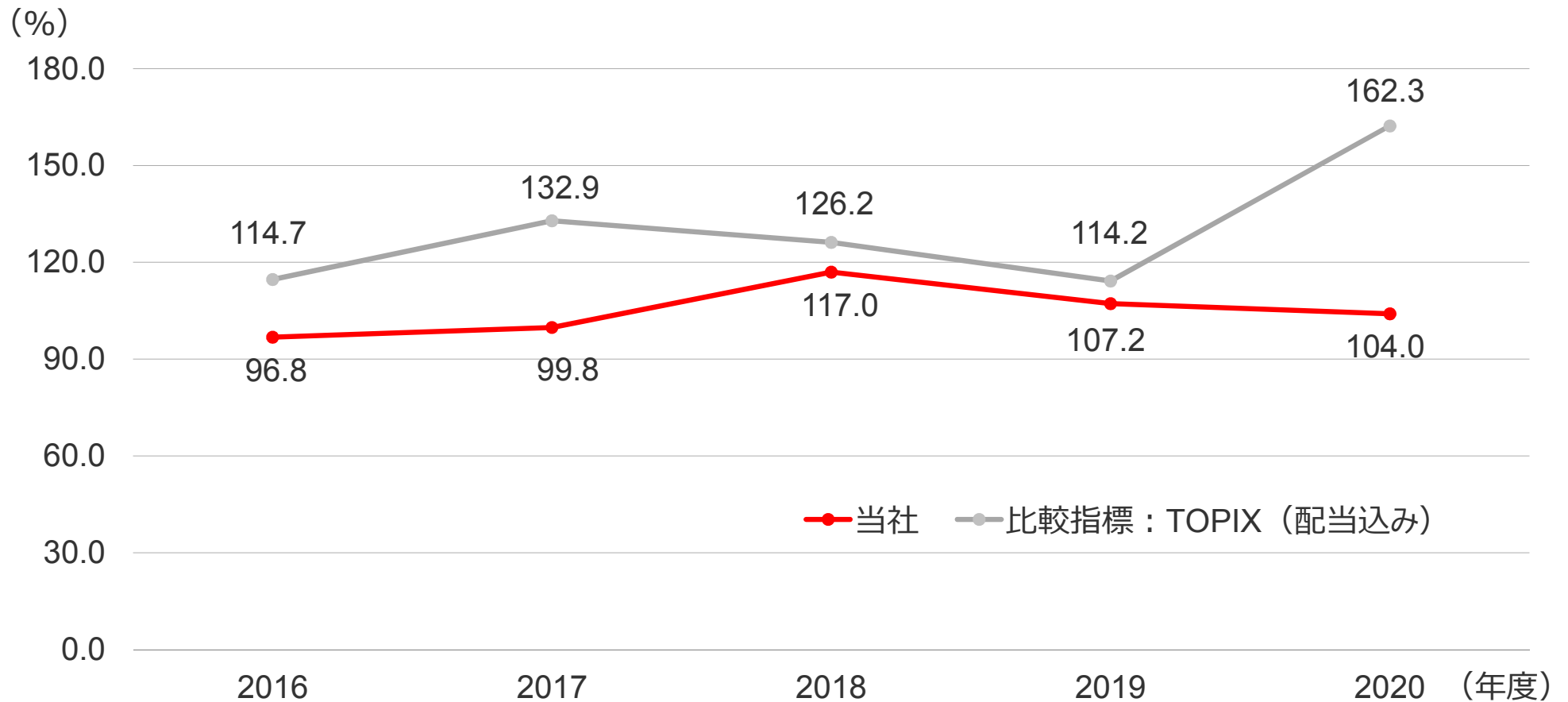
**【格付取得状況(長期格付)】**

Moody's	R&I	JCR
A3	A+	AA

# 連結ROA・ROEの推移



# 株主総利回り（TSR）の推移



株主総利回り（トータルシェアホルダーリターン）とは、株式投資により得られた収益（配当とキャピタルゲイン）を投資額（株価）で割った比率をいう。

<計算式>

$$\frac{\text{各事業年度末日の株価} + \text{当事業年度の4事業年度前から各事業年度までの1株当たり配当額の累計額}}{\text{当事業年度の5事業年度前の末日の株価}}$$

# ミライズグループ販売状況について

		2021/3Q	目標
域内	電気新料金メニュー加入実績	約241万件 <small>(21年12月時点)</small>	—
	各種サービスと電気またはガスとのセット販売件数	約5.5万件 <small>(21年12月時点)</small>	2021年度以降早期に10万件獲得
域外	エリア外での販売電力量	97億kWh	2020年代後半、首都圏の販売電力量年間約300億kWhに拡大
	CDIナジードイレクトの供給件数（電力・ガス計）	約46万件 <small>(22年1月19日時点)</small>	将来的に約300万件相当のお客さまへのサービス提供
ガス	ガス・LNG販売量	86.9万t	2020年代後半で年間300万tに拡大
	ガス料金メニュー申込み件数	約45万件 <small>(22年1月19日時点)</small>	—

# ミライズ販売電力量の月別推移

(億kWh)

	2021年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3Q
低圧	27	23	19	23	29	25	21	22	27	217
高圧・特別高圧	61	58	66	70	68	67	63	61	61	575
合計	88	81	84	93	97	92	85	84	88	792

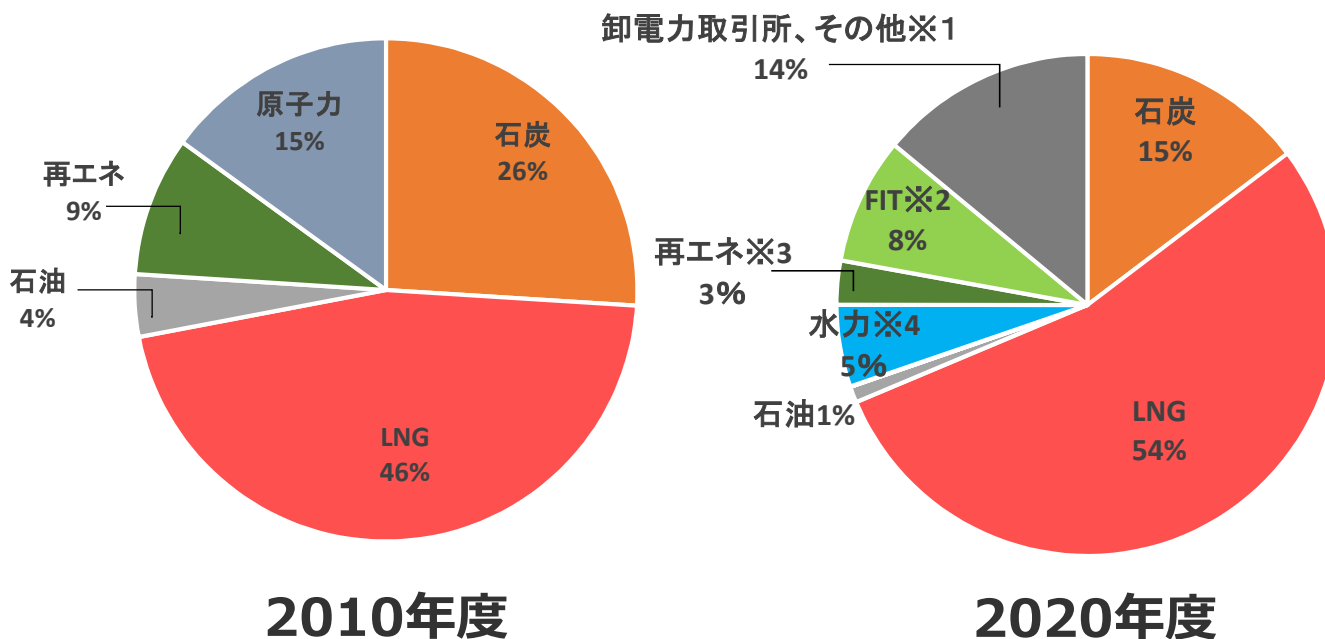
(億kWh)

	2020年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度
低圧	29	26	20	24	31	30	23	25	25	42	34	30	339
高圧・特別高圧	60	54	61	67	68	73	66	63	63	64	64	65	769
合計	90	80	81	91	99	103	89	88	88	105	98	95	1,107

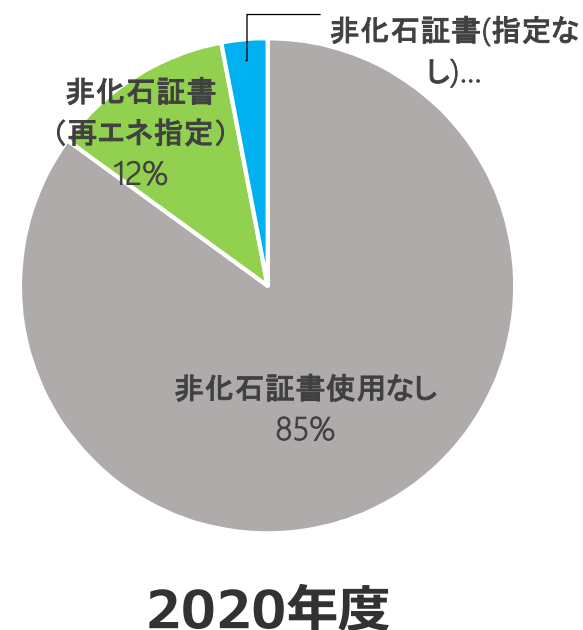
※ 端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

# 2020年度電源構成（確報値）

## 電源構成



## 非化石証書の使用状況



(注1) 融通・他社受電を含みます。

(注2) 当社は再生可能エネルギー100%とするメニューおよび実質再エネ100%メニューを一部のお客さまに対して販売しており、それ以外のメニューの構成比を示しています。

(注3) 非化石証書の使用状況について、非FIT非化石証書の取引開始が2020年4月発電分からのため、エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律（以下、「エネルギー供給構造高度化法」という。）の算定と同様に、分母の販売電力量を9/12倍にして非化石証書の比率を算定しています。

※1 日本卸電力取引所(JEPX)からの調達（水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます）、他社から調達している電気で発電所が特定できないもの。

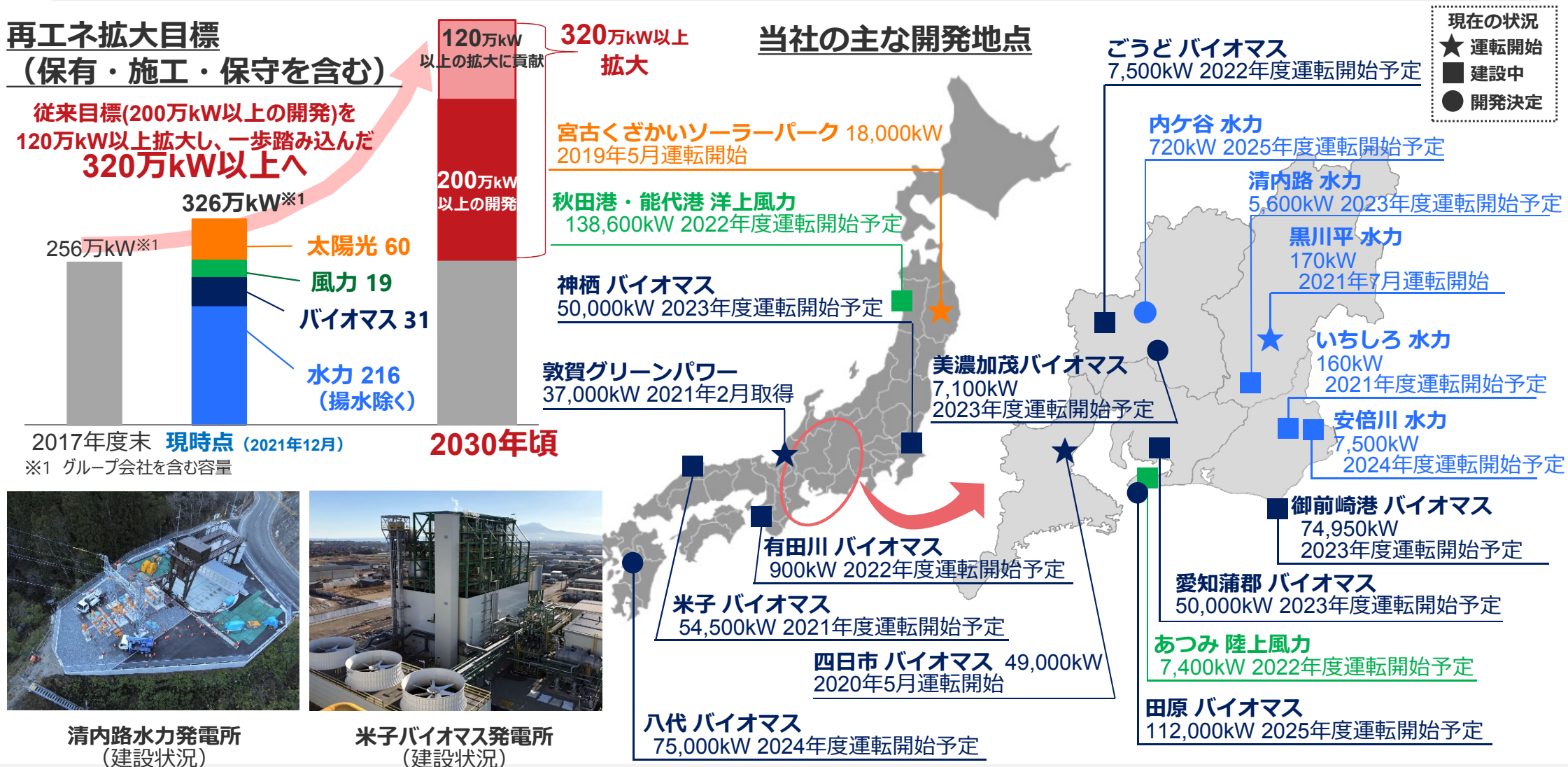
※2 当社がこの電気を調達する費用の一部は、当社のお客さま以外の方も含め、電気をご利用のすべての皆さまから集めた賦課金により賄われております。この電気のうち、非化石証書を使用していない部分は、再生可能エネルギーとしての価値やCO2ゼロエミッション電源としての価値は有さず、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO2排出量を持った電気として扱われます。

※3 水力3万kW以上、FIT電気を除く ※4 3万kW以上

# 再生可能エネルギー事業の概要

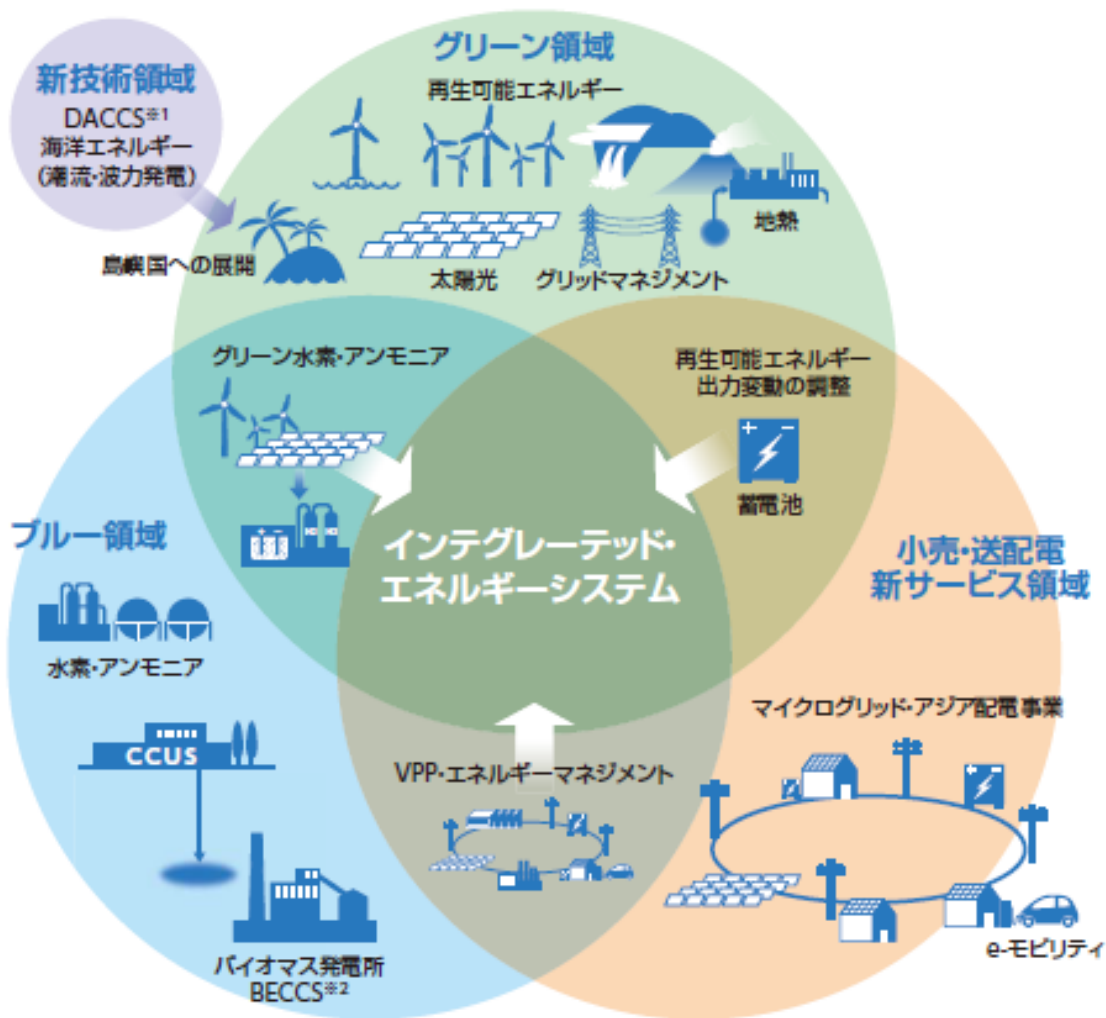
➤ **2030年頃に320万kW以上の拡大目標容量\*** に対し、現時点の容量は、グループ全体で約70万kW。

※当社グループが保有する再エネ設備に加え、他者設備の施工・保守を通じ、お客さまへ再エネ価値をお届けする設備の容量を含む。



# グローバル事業の展開①

- グローバル事業（海外事業）では、4つのセグメント（グリーン領域、ブルー領域、小売・送配電・新サービス領域、新技術領域）を組み合わせ、最適なポートフォリオを形成し、欧州・アジア太平洋を中心とした脱炭素エネルギー企業を目指します。
- 脱炭素やコミュニティサービスの展開を促進し、その知見を活用するなど、国内事業とのシナジーを高めてまいります。



<sup>#1</sup> CO<sub>2</sub>大気直接回収貯留 <sup>#2</sup> CO<sub>2</sub>回収貯留付バイオマス発電

## 欧州



## アジア





# グローバル事業の展開②

- 欧州においては、Enecoを**欧州戦略上のプラットフォーム**と位置付け、再エネ・小売・新サービス等の成長領域を拡大する。

## 【オランダ総合エネルギー事業会社Enecoの買収について】

### 案件概要

出資額		41億ユーロ（約5千億円） 出資比率：三菱商事80%、中部電力20%（2020年3月出資）
Enecoの概要	事業	電力・ガス・熱供給の総合エネルギー事業 （年間電力取扱量約300億kWh、ガス取扱量約500億kWh(電力換算)、顧客口数約600万口）
	地域	オランダ、ベルギー、ドイツ等
	財務状況	Eneco純利益（2020年末） 118百万ユーロ（約146億円 <sup>※1</sup> ） 前年比約48%増 中部電力連結影響（2020年度）：1億円 <sup>※2</sup>

※1 1ユーロ=125円換算 ※2 2020.12に、オランダでの法人税率引下げが撤回されたことにより、会計処理として、一時的な税金費用が発生

- Enecoは2035年までに温室効果ガスネット・ゼロを目指すことを公表。当社はEnecoのチャレンジを株主として積極的に後押しする。また、Enecoの取り組みを国内に還元し、当社の「ゼロエミチャレンジ2050」実現に向け相乗効果を図る。

### 主な公表内容

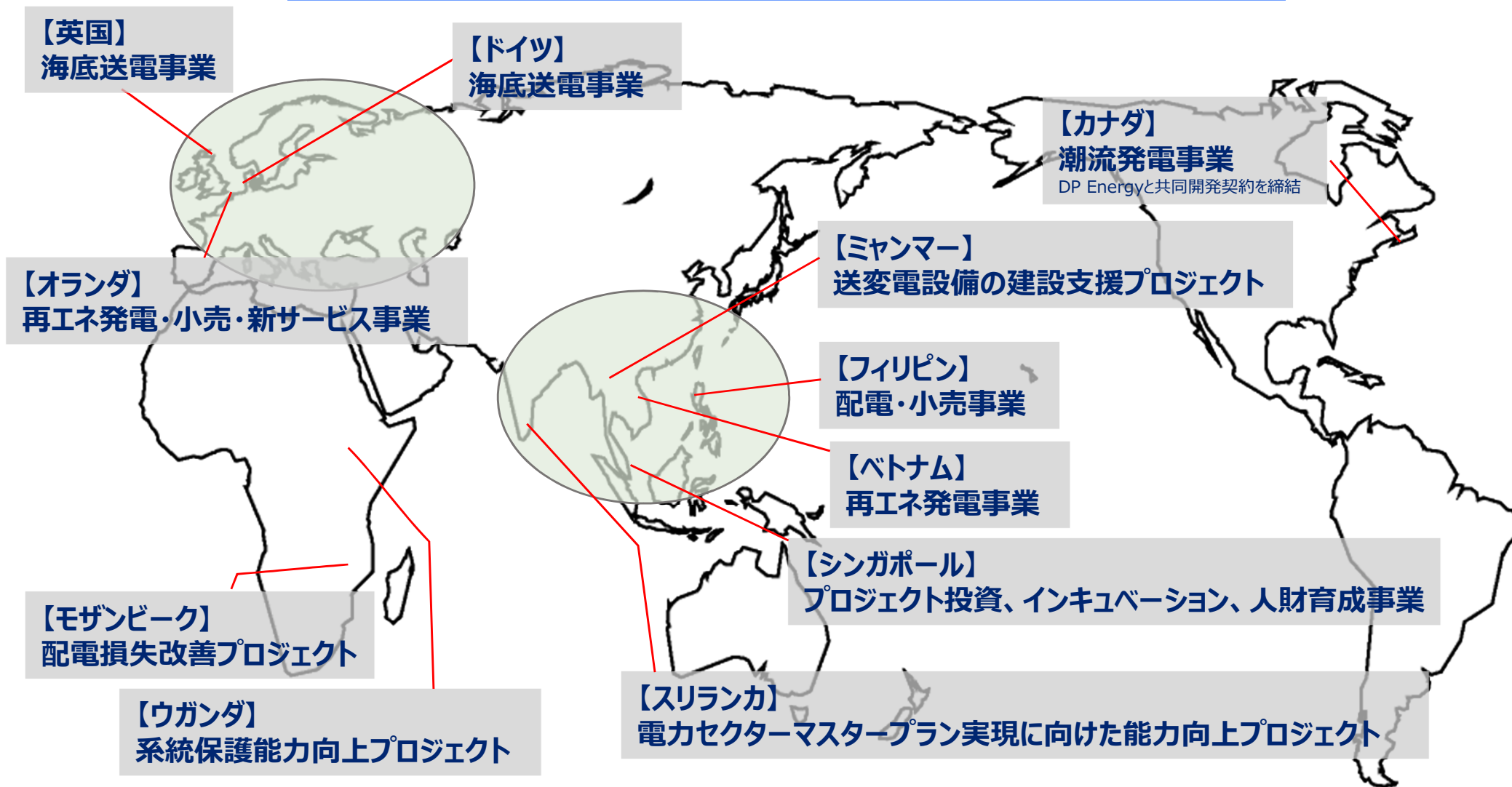
ガス火力	既存設備は持続可能（カーボンニュートラルな天然ガスやグリーン水素）な電源に順次転換または閉鎖
再エネ電源	2025年までに持ち分容量を、現在（約170万kW）の約2倍の320万kWとする
顧客向け	ガス焚きセントラルヒーティング・ボイラーからヒートポンプや熱供給、水素対応のボイラーへと転換

### 当社との相乗効果

社員派遣	当社からEnecoへ4名派遣。設備のO&Mノウハウを提供し、Eneco設備のエネルギー効率向上を実現
国内還元	Enecoが有する洋上風力の開発・運営や水素技術に関する知見を用いて当社の「ゼロエミチャレンジ2050」を実現

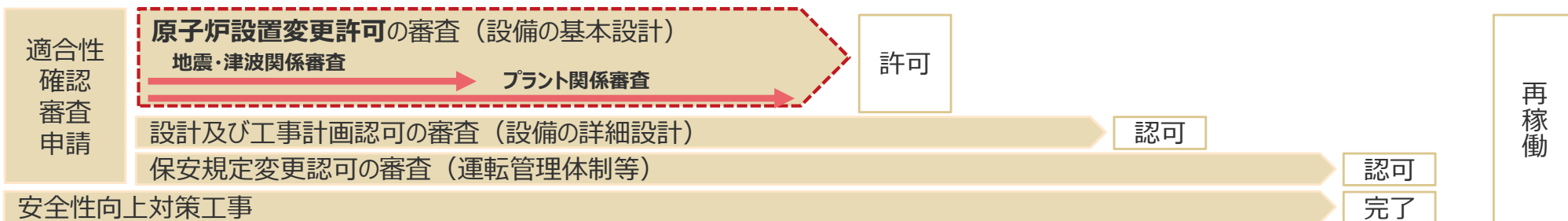
# グローバル事業の展開③

## 現在の主な投資プロジェクト・コンサル案件

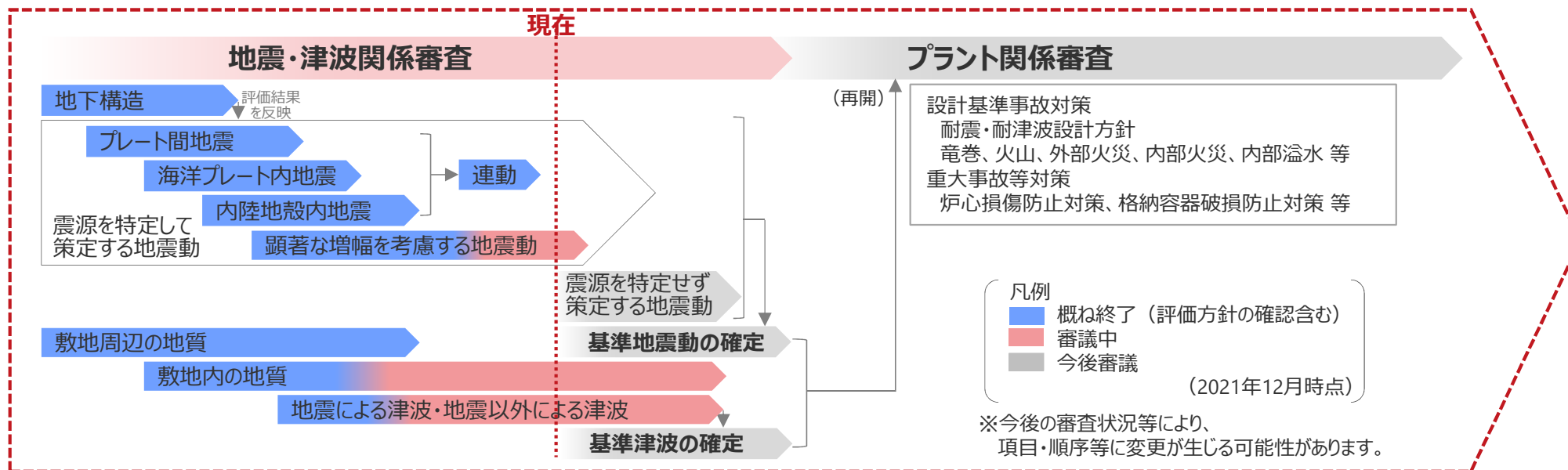


# 浜岡原子力発電所の審査状況

浜岡原子力発電所は、「福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさない」という固い決意のもと、安全性向上対策を進めており、原子力規制委員会による新規制基準への適合性確認審査を受けています。**基準地震動・基準津波の概ね確定後は、プラント関係審査が進むとともに、これらに基づき安全性向上対策の内容がご説明できるようになります。**



## 原子炉設置変更許可の主な審査項目と浜岡原子力発電所の審査進捗状況



## 当資料取扱上のご注意

当資料に記載の将来の計画や見通し等は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

これらの将来の計画や見通し等は、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向等により、実際の結果とは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

また、当資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。